

2008年4月17日

各位

小野薬品工業株式会社 広報室

TEL : 06-6263-5670

大日本住友製薬株式会社 広報部

TEL : 06-6203-1407

経口プロスタグランジン E1 誘導体制剤リマプロスト アルファデクス
頰椎症に対する効能追加の開発を中止

リマプロスト アルファデクス（一般名、以下リマプロスト）は、両社の共同研究から生まれた経口プロスタグランジン E1 誘導体制剤で、1988年に「閉塞性血栓血管炎に伴う潰瘍、疼痛および冷感などの虚血性諸症状の改善」を効能・効果として承認され、また、2001年には「後天性の腰部脊柱管狭窄症に伴う自覚症状（下肢疼痛、下肢しびれ）および歩行能力の改善」の効能・効果が追加承認され、現在、両社それぞれ別銘柄（オパルモン[®]錠 5 μ g / 小野薬品工業株式会社、プロレナール[®]錠 5 μ g / 大日本住友製薬株式会社）で販売してきております。

両社は本剤について、頰椎症に対する効能・効果の追加を目的として共同開発を進めてきましたが、有効性を探索するために実施したフェーズII試験において、期待していた有効性を確認できなかったことから、本剤の頰椎症に対する効能追加の開発を中止することにいたしました。

以上

<参考>

頰椎症は主に経年的な頰椎の形状変化（椎間板の変性、骨棘と呼ばれる骨の突出など）により脊髄や神経根が圧迫され神経機能が障害される疾患です。

その発症には圧迫された神経組織の血流低下が関与しているといわれており、四肢のしびれや痛みなどの症状が発現します。